

盛岡で輝いている人を紹介するコーナー「theもりおか人」。今回は特別編として平成22年からプロ野球チーム「埼玉西武ライオンズ」に所属し、来シーズンMLB(米国のメジャーリーグ)へ挑戦する菊池雄星投手(見前中出身)に話を聞きました。

# 世界最高のマウンドへ



プロ野球選手  
菊池雄星投手

## 8つの習い事から選んだ野球

小学5年に軟式野球、6年の時に硬式野球を始めました。小学生の時は野球のほかに、水泳やバスケ、書道など8つも習い事をしていました。その中で野球を選んだのは、楽しかったのもありますが、何より試合に負けた時、一番悔しかったから。練習試合でも負けると泣いてましたね(笑)。小学生の時から投手でしたが、津志田にあるバッティングセンターでホームラン記録をつくるくらいバッティングも得意でした。ただ、投げるのが本当に好きで、この頃からプロ野球の投手になりたいと思っていました。

## 花巻東高で学んだ野球に対する姿勢

小、中学で一緒にプレーした仲間たちと甲子園を目指したかったので花巻東高に進学しました。在学中は、佐々木洋監督から、トレーニングのメニューを自分で決めるように指導を受け、体の構造などの勉強を自分ですることで効率的な練習ができることを学びました。チームの同級生たちも「野球がうまくなるために、日々の生活から自分を管理する」という考えを持っていて、私生活でも気が抜けなかったですね。部屋が汚いのを同級生に見つかるとうざい練習できなくなることもあり、正直怖いくらい徹底してました(笑)。高校時代に学んだことは、プロになった今でも実践しています。

## プロでの経験がメジャーへの道を開く

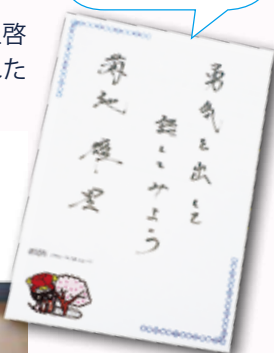
平成22年に埼玉西武ライオンズに入団してからは、1軍に定着することに必死でした。どんなに練習しても球速が落ちてしまったり、思うほど成績を残せなかったりで、正直精神的にも結構しんどかったです。転機になったのは6年目。投球フォームを一から見直しました。そこから1軍でも安定して結果を出せるように。チームの勝利に貢献するために、3年間連続で2桁勝利するという目標を立てられるくらい自信もつきました。その頃に、明確にメジャー挑戦への決意が固まったと思います。今年は目標最後の3年目で、自分でかけたプレッシャーがきつかったですが無事達成できました。これから挑戦するメジャーリーグでは、行って満足することなく、結果を残すことに集中したいです。盛岡の皆さんには、小さい頃から辛い時にも温かい声援を送ってもらい、本当に感謝しています。また盛岡に戻ってきた時にいい報告ができるよう、新天地でも頑張ります!

12月3日に県公会堂(内丸)で開催されたチャリティトークショー(株アシックス主催)などへ出演するため帰盛。昨シーズンは、2年連続2度目となる日本プロ野球パシフィックリーグのベストナインに選出されるなど活躍。埼玉西武ライオンズのリーグ優勝に大きく貢献した。

トークショーでは、中・高校生に向けて「いろいろなスポーツに触れ、そのスポーツで得られる感覚を大切にしたいほうがいい」などとアドバイス(写真①)。

市内の新成人に向けて、自殺防止啓発のためのメッセージも送ってくれた(写真②)。

成人式で新成人の皆さんに配布予定です!



## 直筆サイン色紙を抽選で3人へプレゼント

- ▶ 応募資格: 盛岡市に住んでいる人
- ▶ 応募方法: はがきに住所と名前、年齢、性別、電話番号、広報もりおかの感想を記入し、☎020-8530(住所不要)市役所広聴広報課「菊池雄星投手サイン色紙プレゼント係」へ郵送してください。1月21日(月)消印有効。応募は1人1通まで。当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えます



もりけんに挑戦(7ページに掲載)の答え  
②イギリス

広報もりおかへのご意見をお待ちしています  
アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。



### 編集後記

長年にわたり多くの方が創り上げる舞台、日々の努力が実を結び挑戦する世界の舞台。積み重ねていくことの大切さを感じました。(菅原)



地球環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しています。